人のとなりに

中野（なかの） 忠和（ただかず）さん

▲中野忠和さん（右から２人目）と孫７人

圧倒される景観の鹿島断崖や約８千万年前の地層から発掘された恐竜化石。２０００年に開通した甑大橋など、太古から現代までのロマンが凝縮される鹿島地域。

そこで今回は、地域の活性化のために、子どもたちの成長を見守りながら鹿島の未来を見据える方の思いに寄り添います。

「人のとなりに」とは…

文字通り、その人の隣にいて、思いに寄り添うことや人柄を表す言葉「人となり」をイメージしたコーナーで、人物や活動の紹介だけでなく、その人の思いにスポットを当てることを目的としています。

「子どもの頃は、海で貝や魚を捕り、段々畑を走り回って、山グミを食べたり、農繁期はサツマイモの収穫をしたりと何もないけど楽しい毎日だった」と話すのは、剣道スポーツ少年団の指導やウミネコ留学生の里親として、地域の子どもたちに関わる中野忠和さん。

高校進学のために島立ちし、東京の企業に就職。父の病気を機に生まれ育った故郷「鹿島」に帰ってきました。

地域の子どもたちと

１９８２年４月に立ち上げた剣道スポーツ少年団。結成40年を経過した現在も、指導者として子どもたちの健全育成に努めています。「保護者も一緒になって活動していて、現在は教え子と一緒に、その子どもを指導できることがうれしい」と笑顔で話す中野さん。「時代の変化の中でも鹿島の自然の中で、季節に合った遊びを見つけ伸び伸びと過ごしてほしい」と語ります。

里親として

１９９５年、翌年の小学校に入学する１年生が１人もいないことから旧鹿島村がウミネコ留学制度を創設し、留学生の受け入れを開始しました。

中野さんも３人目の子どもの島立ちを機に、里親として留学生の受け入れを始め、これまで29人を受け入れました。

全国各地から来た留学生とは今も交流が続き、剣道で一緒に汗を流した留学生が帰った後も長期休暇などを利用して練習に来てくれることもあります。

「留学生が、鹿島の『人』が決め手になったとか、地域の人たちの応援で第２の故郷ができたと言ってくれるのがうれしい」と話す中野さん。

ウミネコ留学生が地域の良さを広めてくれ、ファンを増やしてくれることで関係人口の創出につながっています。中野さんは、時代の変化で多様化する子どもたちと向き合いながら、今年も留学生を受け入れています。

故郷「鹿島」への思い

「甑大橋の開通で観光客も増え、日常生活でも便利さを感じる一方で、鹿島港の寄港地集約を受けて、改めて寂しくなった」と。３月31日（金）は、島立ちする子どもたちの姿を見ながら、自身の島立ちのことを思い出したそう。

それでも、豊かな自然と人の温かさが魅力の鹿島の未来を見据える中野さん。子どもの頃、遊び場だった場所から恐竜の化石が発掘されてとても驚いたそうで、２年後の甑ミュージアムの完成を心待ちにしています。

「新型コロナウイルス感染症の影響で地域の関係性が希薄になったように感じることもある。鹿島港も活用し、観光客にまた来たいと思ってもらえるように、人が集える場所にしたい」とこれからの鹿島のことを考えながら、中野さんは子どもたちと一緒に汗を流しています。

深ボリ！ 企業のチカラ

第53回 鹿児島くみあいチキンフーズ株式会社 川内食品工場

今回は、鹿児島くみあいチキンフーズ株式会社を「深ボリ！」。川内食品工場長蛭川（ひるかわ）章二（しょうじ）さんにお話を伺いました。

▲蛭川川内食品工場長（前列の左から３人目）と社員の皆さん

事業の概要

鹿児島くみあいチキンフーズ株式会社は、１９９０年４月に株式会社鹿児島くみあい食鳥センターと株式会社鹿児島くみあいひなセンターが合併し、設立されました。

ブロイラーの生産から処理・加工までを県内16事業所で行っています。

当工場では、協力会社を含め約３５０人が勤めており、産地や生産者、飼育方法などを明確にした若鶏や、全飼育期間において抗生物質・合成抗菌剤を添加しない飼料で飼育した若鶏などを１日あたり約６万羽処理・加工をしています。

工場ライン ～加工から出荷まで～

▲①解体処理

▲②もも肉処理

▲③検品

▲④冷却

▲⑤保管・出荷

衛生管理と効率化

食肉加工を行う会社なので、衛生管理には特に気を使っており、整理・整頓・清潔・清掃・躾（しつけ）の５Ｓを徹底し、安全安心な食品の提供に努めています。

また、鶏肉の処理・加工に関しては会社全体で機械化を進めており、当工場においても従業員の負担軽減を図るため、最新の処理機械導入や製造ラインの改造に取り組んでいます。

今後の抱負

新型コロナウイルス感染症の影響で開催されていなかった地域イベントも徐々に再開されているので、積極的に参加し、地域との交流も深めていきたいと考えています。

また地域における会社の認知度不足も課題と考えているので、社名とともに事業内容も広く知っていただけるよう広報活動なども行っていきます。

社員からのメッセージ

入社５年目
上谷隼人（うえたにはやと）さん

入社して５年目です。全国においしい鶏肉を届けることをやりがいとして日々努力しています。

未経験の職場でしたが、先輩方が丁寧に教えてくださり、徐々に仕事も身についてきました。プライベートとの両立も図れ、充実した毎日を過ごすことができています。

鹿児島くみあいチキンフーズ株式会社 川内食品工場

－ Information －

代表者：川内食品工場長　蛭川章二
所在地：勝目町 3888
従業員数：253 人
連絡先：(22)7174

ホームページ▶